

化学

Chemistry

教授	高橋 康丈	Yasutake Takahashi
准教授	杉森 保	Tamotsu Sugimori
助教	角田 広子	Hiroko Kakuda

◆ 研究概要

高橋康丈：有機および生物有機光化学反応の中間体に関する研究。

杉森 保：フェニル誘導体の導入を基盤とする両親媒性フタロシアニン錯体の合成。

角田広子：超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応の開発とその応用。

◆ 著書

- 1) 杉森 保 (分担執筆). あの元素は何の役に立っているのか?. 左巻健男著. 東京: 宝島社; 2013. 第2章, 私たちのくらしや産業を支える鉄、アルミニウム、銅 - 全 118 元素 これでわかる元素の使い道・金属元素 1 - 天然元素編; p. 85-94.

◆ 原著

- 1) Isago H, Fujita H, Hirota M, Sugimori T, Kagaya Y. Synthesis, spectral and electrochemical properties of a novel phosphorous(V)-phthalocyanine. *J Porphyrins Phthalocyanines*. 2013 Aug;17(8-9):763-71.
- 2) Ikeue T, Kimura Y, Karino K, Iida M, Yamaji T, Hiromitsu I, Sugimori T, Yoshioka D, Mikuriya M, Handa M. Structural, magnetic, and 1H NMR spectral study on lantern-type cis-and trans-diruthenium(II,III) complexes with two formamidinato and two acetato bridges. *Inorg Chem Commun*. 2013 Jul ;33 :133-7.
- 3) Nakano T, Kakuda H, Shinoda H, Moriyama H. Activation of dioxygen in an aqueous system of [Fe^{III}TMPyP]-MBTH-O₂ to form peroxide and azine from MBTH: reactivity of superoxohemin ([Fe^{III}TMPyP-OO]⁻) and peroxohemin ([Fe^{III}TMPyP-OO]⁻). *Bull Chem Soc Jpn*. 2013 May ; 86(5):620-7.

◆ 学会報告

- 1) 砂金宏明, 藤田晴美, 加賀屋豊, 弘田美紗子, 杉森 保. 五価リンを中心元素とするフタロシアニンの合成と会合特性に関する研究. 日本化学会第 93 春季年会; 2013 Mar 22-25; 横浜. (3A2-34)
- 2) 砂金宏明, 加賀屋豊, 杉森 保. 活性な軸配位子を有するヒ素 (V) フタロシアニン錯体の合成と反応. 錯体化学会第 63 回討論会; 2013 Nov 2-4; 沖縄. (1D-01)
- 3) 杉森 保, 中尾美恵, 得津敏嵩, 高橋康丈, 池上崇久, 半田 真. 両親媒性側鎖を持つフェニル誘導体置換フタロシアニン錯体. 錯体化学会第 63 回討論会; 2013 Nov 2-4; 沖縄. (2PA-122)
- 4) 藤城 零, 池上崇久, 杉森 保, 半田 真. 環周辺にカチオン基およびアニオン基を導入した水溶性フタロシアニン亜鉛 (II) 錯体の合成と性質. 2013 年日本化学会中国四国支部大会; 2013 Nov 16-17; 広島. (1H02)
- 5) 藤井一紗, 加藤大昇, 池上崇久, 光宗哲平, 杉森 保, 半田 真. 環周辺にシッフ塩基を配位部位として有するフタロシアニン錯体の合成と性質. 2013 年日本化学会中国四国支部大会; 2013 Nov 16-17; 広島. (1H03)
- 6) 松本直美, 池上崇久, 澤田奈央子, 広光一郎, 杉森 保, 御厨正博, 半田 真. 環周辺に嵩高い置換基を有する平面型フタロシアニン銅 (II) およびオキシドバナジウム (IV) ニ核錯体の合成と性質. 2013 年日本化学会中国四国支部大会; 2013 Nov 16-17; 広島. (2H06)
- 7) 角田広子, 桐原正之, 高橋康丈. 超原子価ヨウ素化合物による分子内アミノ環化反応と iminosugar 及びその 2-deoxy-2-fluoro 誘導体の合成 (30pmA-750). 日本薬学会第 133 年会; 2013 Mar 27-30; 横浜.